

クッシング症候群を 見つめ直す

診断と治療を再構築し、一歩先へ —実践のための整理と提案—

健康診断の普及により、クッシング症候群の軽症例が発見される機会が増えています。これに伴い、確定診断や投薬開始のタイミング判断がより難しくなっており、あわせて治療法の選択や治療ゴールの設定、オーナーとの向き合い方についても、いっそう慎重な検討が求められています。本セミナーは、軽症例の確定診断や投薬開始に課題を感じている先生に、特におすすめの内容です。

あすかアニマルヘルス株式会社

こんな方にオススメ

- ✓ 診療経験が浅く、診断や投薬判断にまだ迷いがある
- ✓ 軽症例・併発疾患への対応方法に悩んでいる

- ✓ 先発薬を継続中で、ジェネリックへの切替に不安がある
- ✓ 飼い主への説明やフォローの難しさを感じている

セミナーの ポイント

軽症例・初期症状例における「治療しないリスク」と
治療開始の判断基準

診断や治療に踏み切れない“躊躇層”への
アプローチと支援

臨床でのトリロスタン使用から見える投与方法の注意点、
先発薬からの切替えにおける投与方法と安全性

分包による投与量（処方量）のバラツキや
曝露リスクへの注意喚起

講師



左向 敏紀 先生

日本獣医生命科学大学 名誉教授
日本獣医内分泌研究会 会長
日本ペット栄養学会 会長

日本獣医畜産大学（現・日本獣医生命科学大学）獣医学科を卒業後、母校にて教職に就き、馬・牛・小動物を対象とした消化器・内分泌・代謝性疾患の研究に従事。1990年には、小動物栄養学を深めるため、米国オハイオ州立大学へ留学。2006年より、日本獣医生命科学大学・獣医保健看護学科の教授として、日本初の獣医系大学における動物看護学部設立に尽力。動物看護師の教育・制度設計にも携わり、国家資格化の実現に大きく貢献した。2020年より同大学名誉教授。獣医内分泌学の識者として、現在も日本の獣医療の発展に寄与している。

ファシリテーター

山内 一男 先生

山内アニマルセンター/獣医師：北里大学獣医畜産学部（現：獣医学部）獣医学科卒業・獣医修士課程修了後、1990年に東京都東村山市にて山内アニマルセンターを開院。地域密着型のホームドクターをモットーとし地域に貢献している。

2025 10/16^木 ~ 10/31^金

オンデマンド配信

- ▶ 近年のクッシング症候群
教科書的症状と近年の症状の傾向（軽症例・早期発見例）
- ▶ 確定診断と投薬開始のタイミング
- ▶ 治療開始の判断と薬剤取扱いにおける留意点
分包による投与量の不安定性と曝露リスク、啓発の必要性
- ▶ 症例を通じて見える治療の方向性
治療のゴール設定とオーナーへのインフォームドコンセントの重要性
- ▶ トリロスタン錠「あすか」の使用実感
切替時の工夫と2.5mg製剤の臨床的有用性

参加費 無料 お申込URL aska.life-tail.com

申込期間 最終日 20:00 まで 視聴期間 最終日 23:59 まで

セミナー形式 対象 獣医師/愛玩動物看護師 配信方式 オンデマンド配信
質疑応答 あり（アンケートにて入力/後日メール回答） ハンドアウト あり

⚠ 注意事項 ■講演中の録音・録画はご遠慮ください
■お申込み期限の延長はありませんので、必ず期間内にお申込みください

主催 あすかアニマルヘルス株式会社 協力 株式会社Life&Tail

推奨視聴環境は視聴ページ内よりご確認ください

お申込み
方法

特設サイトへアクセス

「aska.life-tail.com」特設
サイトへアクセス

会員登録

お申し込みには事前に会員
登録（無料）が必要です

LIVE配信セミナーお申込み

開催概要を再度確認し、必要
事項を入力します

お申込み

必要事項を入力し、ページ下部に
ある「申込ボタン」をクリック

お申込み完了

申込完了メールに視聴方法を記載
しますので必ずご確認ください